

第 1876 回例会報告

◇会長告知◇

会長 小口 直久



皆さん、こんにちは。
連日暑い日が続いておりますが、体調など崩されていないでしょうか。
先日は社会奉仕委員会の「諏訪湖グリーン祭」諏訪湖清掃、展示ブース開設参加協力事業に、多くの会員の皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。当日は天候にも恵まれ、気温の高い一日ではありましたが、大きな混乱もなく、湖浄連の皆さんの活動を私たちがサポートできたことは、大変意義あることだったと感じております。ご協力に心より感謝申し上げます。さて、今月は「母子の健康月間」ということもあり、今回は私自身の原点でもある「両親」について少しお話をさせていただきます。

私が生まれたのは昭和40年。その1年前、父と母は勤めていた会社を辞め、自宅横に小さなプレハブ工場を建てて、二人三脚で新たな一步を踏み出しました。機械1台、トラック1台、そして小さな材料置き場。それが、我が家の家業のはじまりでした。
私が幼い頃は、工場がすぐ隣にありましたので、父母が機械に向かい、汗を流して働く姿が、私の日常風景でした。正直、子どもの頃はあまり気にも留めていませんでしたが、成長するにつれ、その働きぶりの意味を少しずつ理解し、「本当に大変なことをしているんだな」と自然と思うようになっていきました。やがて父が病に倒れ、母の後押しもあり、私が家業を継ぐこととなりました。当時は景気も芳しくなく、試行錯誤の日々でしたが、父がよく口にしていた「お客様を裏切るな。ただ、ひたすら誠実に」という言葉を胸に、ただがむしゃらに仕事に励んでいた気がします。
振り返れば、そんな価値観や生き方は、幼い頃に両親の背中を見て自然と身についたものだったのかもしれない。決して裕福ではありませんでしたが、私たち子どもには最低限の暮らしと、なにより「健康」を与えてくれた両親に、今は感謝の思いしかありません。
寡黙に黙々と働き、縁の下の力持ちとして生きた父。社交的で、友人に囲まれ、いつも楽しそうに日々を過ごしていた母。
今の私は、そんな両親の「いいところ」を少しずつ受け継いで生きているような気がします。
今回の「母子の健康月間」にあたり、改めて思うのは、「健康こ

令和 7 年 7 月 17 日(木) 曇り

そがすべての土台」であるということです。仕事においても、ロータリー活動においても、まず自分自身が健康であるからこそ、真摯に向き合い、誰かの役に立つことができるのだと思います。
世界中の母と子、そしてすべての人々が健康で平和に暮らせる社会の実現。これは、私たちロータリアンが掲げる奉仕の理想でもあります。
私自身も、両親が与えてくれた健康と価値観に感謝しながら、今後のロータリー活動に一層励んでいきたいと、改めて心に誓っております。
本日は、第3回目の第41期行事計画発表の場となります。各委員長の皆さまの想いと計画を共有し、これからの一年を乗り切るものとしていければと願っております。
どうぞ、よろしく願いいたします。

◇幹事報告◇

幹事 成山 秀幸

【報告事項】

1. 青少年育成基金に「ブナの森林で諏訪湖源流の森を守ろう」というプロジェクト名で、申請しておりましたが、地区から承認の連絡がございました。尚、今後の青少年育成基金の財源を考慮し、また規約 12 条(1)「助成の総枠は、原則として年額 500 万円以内とし、限度額を超えた場合は、申請額に応じて按分する」を尊重し、一律助成希望額の 85%とすることで助成額が決定したそうです。
については、当クラブでは20万円を申請しておりましたが、85%の 17 万円の助成金を受ける予定です。



【連絡事項】

1. 来週 24 日は納涼例会、31 日は計画休会となり、次回通常例会は 8 月 7 日、高山ガバナー補佐をお迎えしての例会です。ぜひご出席下さい。

【受領文書】ハイライトよねやま、バギオだより、茅野 RC クラブ計画書、諏訪大社 RC クラブ計画書

【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	31 人	7 人	8,000 円
出席対象	29 人		
出席者数	18 人	前回累計	33,000 円
出席率	62.1%	累計	41,000 円
前回修正出席数	人	目標額	70万円
前回修正出席率	%	達成率	5.9%

ニコニコメッセージ

先日の諏訪湖クリーン祭には多くの会員の皆さんにご参加いただきありがとうございました。本日第3回目の41期事業計画発表です。本日もよろしくお願いいたします。



小口 直久
町の監査があり、2週間欠席してすみませんでした。新年度の小口年度初めての出席です。気持ちを新たに、力を合わせてがんばりましょう。

宮澤 孝良
法務省幹部の歓送迎会などで1都3県を廻ってきました。なんと2000kmを越える移動でした。嵐の中を。小林 聖仁

◇委員会報告◇

7月24日に夜間納涼会を行ないます。ぜひご家族やお孫さんなどご参加をお待ちしております。(望月勉クラブ奉仕委員長)

◇例会内容◇

第41期事業計画発表—3

クラブ会報・雑誌広報委員会

北原数也委員長



事務局と共にクラブ内外の情報の収集を行い、地域に広く活動を知ってもらい、また役立つ情報をクラブ内で共有していくことで5年先を見越した中長期計画を熟慮し、充実した45周年を迎えられるように励んでまいります。

SAA

萩田均 SAA

SAA(会場監督)はクラブの会合の秩序を維持することが役目です。私たちは例会、委員会、各種会合の秩序を重んじて、それを作っていかなくてはなりません。出来たころのロータリークラブと現在のロータリークラブとはその中身は変わってきています。会合の秩序は、ルールは尊敬の心と、協力し合って作り上げる仲間としての友情により出来上がる人間の大切なルール、マナーであります。



クラブ戦略計画/長期計画委員会

萩田均委員長

特別委員会はその名前の活動に特化した活動のため設置されています。RIから3イヤーターゲットを各クラブにおいて計画実施を求め、そのための受け皿委員会、組織を作るように地区から話がありました。39期には会長幹事直前エレクトそしてノミネーにより話し合いをし、次期40周年の事業として中長期計画クラブ戦略に取り組むため特別委員会として、そして40周年実行委員会の事業として取り組むことになりご存じの通りのクラブ全員の参加による会議を実施しました。本年はそれぞれの当該委員会がどのように発展継続させるかをクラブ全員で会議し、次につなげる活動をしたいと思っております。また、私たちは5イヤーターゲットに取り組みます。

会員増強特別委員会

小口直久委員長

本日は「会員増強の必要性」について、私の考えをお話しさせていただきます。

ロータリークラブは、「超我の奉仕」の理念のもと、地域社会、さらには国際社会のために様々な奉仕活動を展開してまいりました。その活動を継続し、さらなる発展を遂げるためには、ク

ラブの基盤となる会員の存在が不可欠です。

ところが現在、多くのクラブが共通して抱えている課題が、会員の高齢化と減少です。私たちのクラブも例外ではありません。新しい会員が入らなければ、いずれクラブの活力が失われ、継続的な奉仕活動や地域への貢献が難しくなってしまいます。では、なぜ会員増強が必要なのか。理由は大きく3つあると考えています。

1つ目は、「持続可能なクラブ運営」のため。

会員数が減ると、例会や奉仕活動の運営が限られた人に依存するようになり、負担が集中します。新しい人材を迎えることで、活動の幅が広がり、継続性が生まれます。

2つ目は、「多様な視点とネットワーク」を取り入れるため。

若い世代や異なる職業、背景を持つ人々が加わることで、ロータリーの活動に新しいアイデアや価値観が加わります。時代の変化に柔軟に対応するには、多様性が鍵となります。

3つ目は、「ロータリーの理念を次世代に繋ぐ」ため。

私たちが培ってきた奉仕の精神、地域社会とのつながりを絶やさないためにも、次の世代にその思いを受け継いでもらう必要があります。これは私たちの責任でもあると思います。

もちろん、新しい会員を迎え入れるには、クラブ自体が魅力的

でなければなりません。雰囲気、活動内容、仲間との交流、そして何より「このクラブに入って良かった」と思える価値を提供することが大切です。最後になりますが、会員増強は誰か一人の仕事ではありません。クラブ全体で、「この人なら一緒にロータリー活動ができそうだ」という方に声をかけ、ゆっくりと信頼関係を築いていくことが大切です。

未来のロータリーのために、皆さんと共に力を合わせて会員増強に取り組んでまいりたいと思っております。



会計

吉澤邦雄会計

今、監査をしてもらっている所ですが、前年度基金を取り崩して、40周年事業を行ったため、本会計は少し余裕があります。事業を節約して行ってもらったため、残った分を基金へ戻し、今100万円くらいです。

今年度はニコBOXの目標額を70万円に引き上げました。

そして、RI人頭分担金など7月8月にまとめて払うお金が結構あるので、会費のお支払いは7月末で切となっておりますが、なるべく早く、余裕のある方は1年分納入頂きたいと思っております。



幹事

成山秀行幹事



会長はじめ、各委員長が、やり甲斐を持って、真に楽しめるように、雰囲気を盛り上げていきたいと思っております。

拍手は、承認を意味し、する側もされる側も、しっかり意識して手を叩いていただき、その事から一体感を感じ、会の雰囲気を盛り上げる1年にします。



最後に、寺島睦史会員より、新会員としての、奉仕活動への意気込みを語っていただきました！